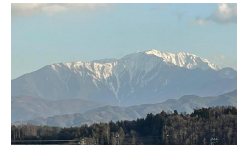


ああ 遠くの空は 晴れている



NO11

南箕輪村教育委員会

南箕輪村の教育大綱（R8～R12）を紹介します。（その3）

Q&A方式で内容を伝えていきます。今回は3回シリーズの第3回です。

Q1 「授業の充実」を学校づくりの根幹とする学校経営をサポートの3番目Cの中に、非認知能力を育む教育活動の推進とあります。具体的にはどんなことか説明してください。

A1 読み書き計算などの「認知能力」とは違い、「非認知能力」は「心の力・行動の力」です。「非認知能力」とは、IQ、学力テスト、偏差値のように点数や数値で明確に測定できない、意欲・忍耐力・自制心・協調性・自己肯定感・寛容・回復力などの内面的な能力・スキルです。この能力は、幼児期に特に発達し、将来の成功や人生の豊かさに大きく影響する重要な能力として注目されています。「やり抜く力」「意欲」「社会性（協調性・共感性）」「自律・自制」とも表現されており、学び続ける意欲や人間関係を築くコミュニケーション力などに直結した大事な能力です。

非認知能力を育てるポイントを3つ紹介します。

- (1) 「遊びを通して育む」・・・大切なことは、「遊び」の中で子どもが「自分で考える力」を発揮できることを意識することです。試行錯誤する過程で、想像力や創造力、工夫する力、最後までやり抜く力を育むことができます。
- (2) 好きなことを通して育む・・・子どもの興味が次々と新しいものに移る時は、気持ちの向くまま好きなことをさせてあげましょう。非認知能力は、実に多岐にわたるものです。子どもの意思を尊重し、自由に取り組みさせてあげる中で、様々な力が自然と育まれていきます。
- (3) 周囲との関わりの中で育む・・・自分で工夫して作った作品をお友達と見せ合ったり、他の子のアイディアステキだと思って自分も取り入れてみたり、協力し合って大きなものを作り上げたり、意見がぶつかった時には交渉や調整を試みたり、失敗した時にはそれを取り返す工夫をしたりと、「他者との関わり」の中で学ぶことが実にたくさんあります。

主に幼児期から学童期の「遊び」を通じて、主体的な試行錯誤や社会的な経験（ごっこ遊び、協力しての工作、群れて遊ぶ）の中で自然と身につくと言われています。また、長時間かけて生活や人間関係の中で培われるため、**家庭や保育・教育現場での温かい関わりが重要視されています**。家庭や学級で過ごす時間や環境、様々な活動が大切であることを、皆で共有していきたいと思います。

Q2 「自炊力」を高めていく食育の推進の中の「自炊力」とは？

A2 「自炊力」とは、単に料理をする技術だけでなく、食材の買い物、献立や栄養バランスを考えて調理をし、そして食生活全体を自分で管理・改善していく総合的な力です。

一言で言えば、高校等を卒業して進学・就職して「ひとり暮らし」を始めた時に、自分の食事を自分で準備・調理し、後片付けまで含めて自力で日々継続していく力です。まさに「生きる力」の基礎基本です。限られた経費の中で必要な食材を買い、時にはコンビニ等のレトルト食品等も上手に活用し、包丁・まな板・鍋・フライパン等を使って数品のおかずを作ることのできる能力です。ご飯を炊飯器で炊ける、野菜の皮を剥き、適切な大きさに切る、炒める・煮る・焼く等の調理ができる、洗い物ができる、ごみの始末ができる等、その習得は一朝一夕にはいきません。が、この「自炊力」は、生き続ける限り、毎日必要となる力であり、10代でその基礎を身につければ、一生にわたって活用できる力です。その力をどうやって身につけるか。それは、家庭での子育てと直結しますので、別紙資料をぜひご覧ください。

食育とも関連しますので、南箕輪村教育委員会では、「自炊力」を高めていく「食育」を推進していきます。今後の「給食だより」等の情報にご注目ください。

Q3 R8年度の施設工事の内容を教えてください。

- A3 主な事業は次のものです。
- 南部小トイレ全面改修
 - 南小南校舎長寿命化改修工事
 - 南小旧学校給食センター改修工事
 - 村民体育館改修（9月まで）
 - 村民センター舞台照明LED化工事

明日からいよいよ令和8年度がスタートします。この教育大綱に掲げた内容を大事にして教育行政を進めてまいります。よろしくお願い致します。